

私たちのサステナビリティ計画

気候

私たちはエネルギー効率の向上と炭素排出量の削減に積極的に取り組み、その結果として事業全体のコスト改善にもつなげています。

低炭素経済への移行に伴う気候関連のリスクと機会を特定・管理することを約束しています。また、2015年のパリ協定に沿って、産業革命前比 1.5° C 以内の気温上昇抑制に向けた取り組みに貢献しています。

温室効果ガス排出量については、グループレベルで設定された年間削減目標に対して定期的に監視・報告を行っています。De Beers Group グループは Science Based Targets initiative (SBTi) によって承認された科学的根拠に基づく目標を掲げており、当社の排出量はそのグループ範囲に含まれています。

また、製品のカーボンフットプリント算定プロセスを確立し、バリューチェーン全体で化石燃料および電力の使用削減による排出削減を積極的に進めています。



資源

と責任ある廃棄物管理を取り入れることで、成長と資源消費の切り離しを目指しています。耐久性と長期性能を重視して設計された当社製品は、お客様が環境負荷を削減する助けにもなります。

廃棄物階層（削減、回収、再使用、リサイクル）に沿って、事業全体で資源の使用とライフサイクルの最適化を図っています。廃棄物ゼロ（埋め立てゼロ）および製品循環性の大幅な向上は、私たちが掲げるグローバルな目標です。

各拠点では、廃棄物や資源使用に関連する指標を追跡・設定し、コスト管理とバリューチェーンの強靱性向上に役立てています。

近年では、有害物質の使用削減や、プラスチックを含む単回使用資源への依存低減に向けて、さまざまなプロセス改善を実施してきました。



人

私たちは、影響範囲に関わるすべての人にとって、安全で公正かつ包摂的な環境づくりを目指しています。自社従業員の健康と安全を守るだけでなく、バリューチェーン全体と協力し、人権・労働権の尊重と倫理的ビジネスの実践を確保しています。

現代および未来の世代の持続可能な暮らしを支える責任があると認識しており、人材の成長を支えるスキル開発やキャリア機会への投資を行っています。

サプライヤーはオンボーディングプロセスの一環として審査され、責任ある調達原則がバリューチェーン全体で遵守されるよう管理しています。また、サプライヤーと協働し、人に関するリスクの特定・管理・削減を継続的に行っています。

主要生産拠点はすべて、ISO 9001、45001、14001の認証を最低基準として取得しています。



文化

私たちは、「持続可能な企業は強靱な企業である」と信じています。これこそが、私たちが未来を形作る方法です。

私たちの価値観と行動規範は、すべての行動の指針となるコンパスです。

行動規範は、「正しいことを行う」姿勢を促し、倫理的な行動、誠実なビジネス、思いやりと敬意を持った対応、資産・データ・情報・利益の保護を定めています。また、公平・包摂・多様性・心理的安全性が確保された環境で、自信を持って声を上げられる文化を支えています。

私たちの文化は、良き市民として行動し、“Beyond Zero” の思考で、可能な限り社会・環境・人々に積極的な価値を提供し続けることを後押しします。

